

## ◆ 2022 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：和光樹林公園 野の花の会

25A-21

代表者：代表 浅野 里香

URL : <https://nonohanawako.wixsite.com/website>

### 1. 活動が必要とされた状況

- ① 県営和光樹林公園内の通称「ニリンソウ草地」は、豊かな生物多様性を有し貴重な夏植物が生えていたが、公園管理事務所による機械での一律な草刈りが行われ、生物多様性の喪失が危ぶまれた。
- ② 外来種も侵入し始めている。
- ③ 2021年度はサイサン環境保全基金の助成により外来種除草の道具を調達し、会員のみで除草。一定の効果を得たが、地域も巻き込んで大人数で夏場の笹刈りも行う必要があった。



### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 6月11日・7月9日・8月14日  
いきもの観察会とハサミで笹刈り。  
サイサン環境保全基金の助成で30人分の剪定ハサミを購入。保全対象場所（ニリンソウ草地）で笹のみをハサミで除草。あわせて同場所で観察会を行い、原っぱが生きものにとって重要なゆりかごの役目を果たしていることを伝えた。3回目は小中学生「夏休みボランティア体験」を受け入れる形で実施。（参加：延べ70人）
- ② いきもの観察会  
6月・7月の事業の成果となる多様な在来の夏植物の開花を確認。（参加者20人）
- ③ 9月13日環境調査勉強会 フィールドワーク草地（原っぱ）と草地植物  
保全対象場所の環境や保全内容や今後の保全方法について専門家から評価とアドバイスをいただきながら自然観察会を行い、参加者とともに知識を深めた。（参加者25人）

### 3. 活動の成果

- ① 地域の人々の協力で3回の草刈りを行い、夏植物の開花を確認できた。
- ② 地域の子どもたちも事業に参加してもらうことができた。この中で参加した中学生から「今日で虫に興味を持ちました」というアンケート回答を得られ、事業について大きな手ごたえを感じる事ができた。
- ③ 調査も兼ねた専門家によるフィールドワークで、保全対象場所が和光市周辺地域で貴重な場所であることが分かった。

### 4. 今後に残された課題

人員確保と参加者のモチベーション。

